

月刊

利根日石新聞

2009年11月1日 創刊 平成28年5月号

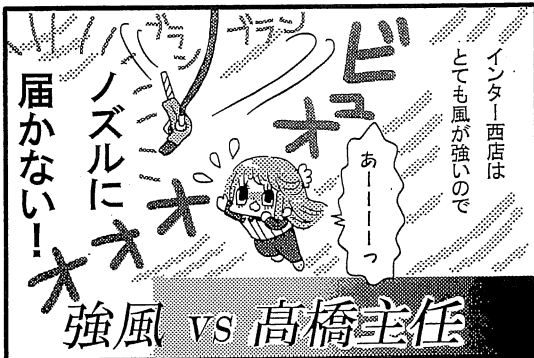
第000079号

発行
利根日石株式会社 TEL:0278-24-1635
本社販売管理課 FAX:0278-23-7980

三木さんの4コマまんが

西店 vs 強風 BY MIKI IO

NO.2



5月

息子のセンター試験から入学するまで、何だかとても忙しくて... 4月下旬にけりやち落ち着いた生活が... と思ったら次男の高校野球春季の大会、そして三男の中学野球春季の大会と... 3人いると次々と用事があり、家中は片付けの間もよくゴミ屋敷るすーと忙しいわけでもないのに、

片付ける気力が"出ず"、**ザリザリ**な夕飯な家で、でも今月は、中学の家庭訪問!! その日の為に、1年に1回だけの大掃除!! 先生が通る所だけ根性入れてピカピカにします。

先日、50歳を過ぎからの生き方という雑誌を読みました。今まで自分の為に生きてた人生を、今度は世の中の為に生きるという考えに、**ほほ**... と思いましたが、まだまだ子供中心の生活。あと数年先に**おちやうな**と思ったけど、出来ることから始めていきたいなと思っ。地域活動、ボランティア... etc...



今年のみそ作りの年で、母が動けなくなってきたので、近所の叔母に教わりながら、仕込んでみました。材料の用意から道具の用意... たんぱりができなくなっている母に了然とし... もう今年で最後にしてやうと話し、母も納得したその後... 東京で生活している娘2人からまさかの**ブーン!** 子供の頃から母の作った手作りみそも食べてきたので、買ったおみそはおいしくないし。友達が家に来て、お鍋を作った時も、手作りみそに感激されたよと応援の声。私ができるならみそ作りを引き継ごうかなと心にゆいています。

真田信之と小松姫について

真田愛 溢れる
あり、こんな字が
小エくなった。は
この字報 くだしい。

NHKの大河ドラマ、真田丸！ 毎週日曜日を楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか？(実は私もどんなファンか。毎週録画し、2回は見ています。) 物語りも中盤に差し掛かり、小松姫もいよいよ登場しました。ますます目が離せない「真田丸」、今回はそんな真田丸をこまかく愛する、ゆかりの歴史ファンの筆者が、真田信之と小松姫の人物像に迫りたいと思います。

ご存知のとおり、小松姫は徳川四天王のひとり、本多忠勝の娘です。前回(第16回、4月24日)放送では薙刀を振り回す勇ましい姿で登場し、真田征伐に連れ込めて欲しいと懇願します。夫となる信之も小松姫の父・本多忠勝を苦手としており、第10回(3月13日)放送ではあやうく切られそうになります。二人ともまごか夫婦になるとは夢にも思っていなかったでしょう。

状況が大きく変わったのは天正14年(1586年)、豊臣秀吉によって徳川・真田の両家が和睦したことをきっかけに両家の結びつきを強める為、二人の結婚の話が出ます。とはいえ、家康にとって小松姫は臣下である本多忠勝の娘。そこで「先ず、小松姫を自らの幼女としたうえで真田家に嫁がせています。この時のエピソードとして伝わる話があります。

家康の幼女である小松姫の婿探しと称して、候補となる諸大名の子息が江戸城に集められました。家康や忠勝もあり、全員平伏しているところ、小松姫は一人ひとり鬘を掴んで人相を確認していったと言います。掴まいる方はいずれも大名の子息、平伏している鬘を掴み顔を見られるなんてことはこの上ない屈辱だったと思いますか、何せ家康の幼女であり、猛将・本多忠勝の長女ですから誰一人文句を言えず、さるがまま。ところが小松姫が何人目の鬘を掴もうとしたその瞬間、その腕を鉄扇で「ビシッ!」と打ち据え「無礼であろう!」と喝した青年がいました。その青年こそ、真田信之!(おれ!) 家康や忠勝の目の前で小松姫を叱責した信之がどんな目に遭うか、緊張感が走る中、小松姫はひと言、「この人に嫁ぎます」。

実際の話ではないようですが、気が強く一本気な小松姫と、実直で筋の通った信之の人柄を表すエピソードとして伝わっています。その後、小松姫は信之との間に二女・三男をもうけます。(長男・信吉は前妻、おこうの子とする説もあります)

慶長5年(1600年)、石田三成が拳兵し天下分け目の大戦(関ヶ原の戦い)が始まります。真田昌幸と信之、信繁の3人は家康の命のもと、会津征伐に向かっていたか下野国の犬伏(現在の栃木県小山市)で三成からの書状が届き、今後のことについて話し合います。長い話し合いの結果、父・昌幸と次男・信繁は三成が率いる西軍、長男・信之は家康が率いる東軍に、それぞれつくこととし、その場で別れます。(犬伏の別れ)

西軍につくことを決めた昌幸と信繁は上田の居城に急ぎ戻る途中、沼田城に立ち寄り。一行が到着したのは深夜、走り続けてきた一行は長男・信之の居城で休憩して行こうと南門するよう伝えます。しかし、一向に返事はなし…。苛立つ家臣が強引に南門しようとすると櫓に戦装束に身を包んだ一人の女武者が現れ、眼下の一行に言い放ちます。

「大敵様と言えど、今は敵軍方! 城主・真田信之より留守を預かる身として敵軍方に南門する訳にはいきませぬ!」昌幸は、疲れてへとへと、お腹もぺんぺん、久しぶりに孫の顔も見たい!と懇願するも櫓の上の小松姫は両側に弓を引く兵、更には鉄砲隊まで配置し、一触即発の圧力。その気合にはさすがの昌幸も諦め、「あはははなり、武士の妻はかくあるべし」と言い残し、工城の南にある正覚寺に陣車を張り休息します。じつはこの正覚寺も小松姫による設営で、料理や酒が用意されていたといわれます。さらには、子供達を連れて小松姫が現れ、祖父である昌幸に子供達を対面させて存分にもてなした、と言われている。(この話は最近、「沼田城の小松姫」というタイトルの紙芝居になりました。)

その後、江戸時代に入り信之はその奥直せで町割りや用水の整備などで沼田をよく治め、小松姫はそんな夫・信之をまよく支え、48歳で病没するまで尽くしました。小松姫の死に際し信之は「我が家の燈火が消えたり」と言たと伝えられます。真田家における小松姫の存在の大きさを物語る言葉です。

平成28年度 太陽光 買い取り単価 決まる!

- 10kWh未満 ⇒ 31円 (前年度は 33円)
- 10kWh以上 ⇒ 24円 (前年度は 27円)

年々買い取り単価が下がっているにもかかわらず、材料費も下がっているのが、収益性は充分確保されています。製造技術も向上しているのが効率的に再生可能エネルギーが発電できます。

ENEOSでんき

好評受付中です

4月から自由化がスタートし、ENEOSでんきは安定的な供給を維持しています。当初、「様子見」をしていた方も、お申し込みをいただいております。特に使用量の大きい店舗兼住宅や二世帯住宅の方からのお問い合わせが多いです。お気軽にお問い合わせください。